

## 平成 15 年度主要建設資材需要見通しの概要

### 1. ま え が き

建設投資動向と密接な関連のある建設資材の需要動向は、建設投資が一段と厳しい状況下で、需要量の減少、さらには価格の低下をきたし、当然ながら厳しい現況である。

先に報告した建設投資見通し（6月号）に引続き、国土交通省から発表された「平成 15 年度主要建設資材需要見通し」についてその概要を報告する。

### 2. 主要建設資材需要見通し

表一1 に主要建設資材の需要実績と見通しを示す。

平成 15 年度の主要建設資材の需要は、建設投資が前年度比 4.5% 減（名目値、以下同じ）になる見通しから、主要建設資材 6 資材 9 品目すべてが減少する見通しである。

特に、土木投資の前年度比 7.1% 減（政府投資 8.3% 減、民間投資 2.0% 減）の影響は、アスファルト 6.4% 減を始めとして一段と厳しい。

平成 14 年度の主要建設資材の需要量は、建設投資が前年度比 7.1% 減（建築投資 5.3% 減、土木投資 8.9% 減）になる見込みから、普通鋼鋼材、小形棒鋼は横ばいであるものの、ほかの資材は概ね前年度比 6～9% の減少になる。

### 3. 主要建設資材需要量の年度推移

図一1 に主要建設資材需要量の年度別推移を示す。

ほとんどの主要建設資材は、バブル最盛期の平成 2 年度にピークに達し、以降鋼材の急激な落込み、品目の差はあるものすべてが下降に転じた。補正予算による公共工事関連予算が増額された平成 5 年度から徐々に回復して平成 8 年度に安定したかに見えたが、再び下がりが平成 12 年度以降はすべてにわたり漸減している。

表一1 平成 15 年度主要建設資材需要見通し

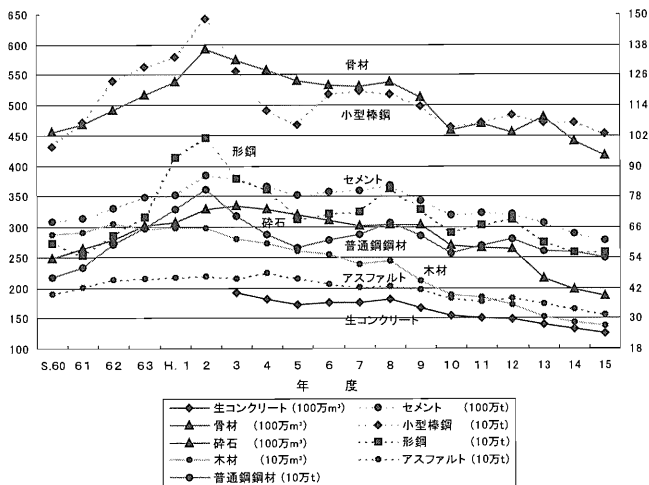
名称・単位	需 要 量			伸び率 (%) ▲マイナス	
	平成 13 年度 実 績	平成 14 年度 実績見込み	平成 15 年度 見 通 し	14/13	15/14
セメント (万 t) (内 需 量)	6,781	6,351	6,100	▲ 6.3	▲ 4.0
生コンクリート (万 m <sup>3</sup> ) (出 荷 量)	13,959	13,174	12,600	▲ 5.6	▲ 4.4
骨 材 (万 m <sup>3</sup> ) (供 給 量)	48,129	44,014	41,700	▲ 8.5	▲ 5.3
砕 石 (万 m <sup>3</sup> ) (出 荷 量)	21,592	19,746	18,600	▲ 8.5	▲ 5.8
木 材 (万 m <sup>3</sup> ) (製材品出荷量)	1,520	1,427	1,375	▲ 6.1	▲ 3.6
普通鋼鋼材 (万 t) (建設向け受注量)	2,600	2,583	2,500	▲ 0.7	▲ 3.2
形 鋼 (万 t) (建設向け受注量)	601	562	560	▲ 6.5	▲ 0.4
小形棒鋼 (万 t) (建設向け出荷量)	1,070	1,070	1,030	0.0	▲ 3.7
アスファルト (万 t) (建設向け等内需量)	358	337	315	▲ 6.0	▲ 6.4

#### 需要見通し推計方法

「平成 15 年度建設投資見通し」の建築（住宅、非住宅）、土木（政府、民間）等の項目ごとの平成 15 年度建設投資見通し額に、建設資材ごとの原単位（工事費 100 万円当たりの建設資材需要量）を乗じ、各建設資材の需要実績等を考慮して、平成 15 年度の主要な建設資材の国内需要の推計を行ったものである。

#### 用語の定義

- ・セメント内 需 量：国内メーカーの国内販売量＋海外メーカーからの輸入量
- ・生コンクリート出 荷 量：組合員工場出荷量＋その他工場推定出荷量
- ・骨 材 供 給 量：国内供給量、輸入骨材も含む
- ・砕 石 出 荷 量：メーカーの国内向け出荷量
- ・木 材 製 材 品 出 荷 量：国内メーカーの製材品出荷量、製材用素材として外材を含む
- ・普通鋼鋼材・形鋼建設向け受注量：国内メーカーの国内建設向け受注量
- ・小形棒鋼建設向け出荷量：国内メーカー及び国内販売業者からの国内建設向け出荷量（ただし、海外メーカーからの輸入量は含まない。）
- ・アスファルト建設向け等内需量：国内建設向け内需量＋建設向け輸入量



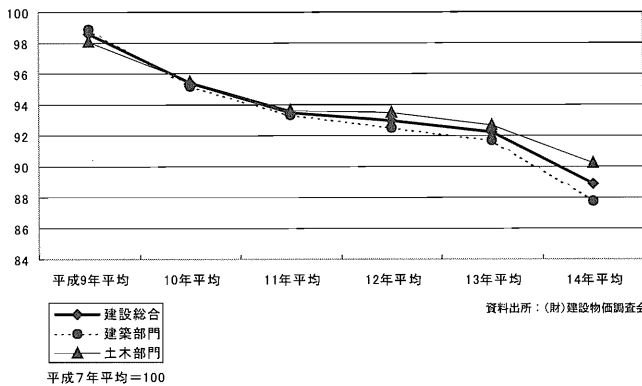
- ・実線（生コンクリート、骨材、砕石、木材、普通鋼鋼材）：左軸を参照。点線（セメント、小型棒鋼、形鋼、アスファルト）：右軸を参照。
- ・生コンクリートについては、平成3年度以前のデータの集計方法が異なるため未掲載。
- ・平成14年度の需要量は実績見込み値（一部実績値を含む）。
- ・平成15年度の需要量は見通し。

図一1 主要建設資材需要量の年度推移（昭和60～平成15年度）

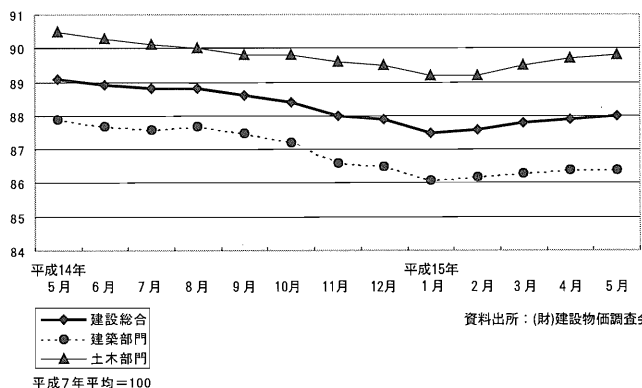
#### 4. 主要建設資材の価格動向

図一2 に全国各都市平均の主要建設資材の価格推移を平成7年平均を100とした物価指数で示す。

建設需要が下降線をたどっている状況下で、価格も低水準で留まっている。平成14年平均では、建設総合で前年比3.3ポイント減、建築部門前年比3.9ポイント減、土木部門前年比2.5ポイント減と一段と低下した。図一3 は引続き最近の傾向を示したものである。5月の前年同月比では建設総合1.1ポイント減、建築部門1.5ポイ



図一2 建設資材物価指数の推移（全国平均）



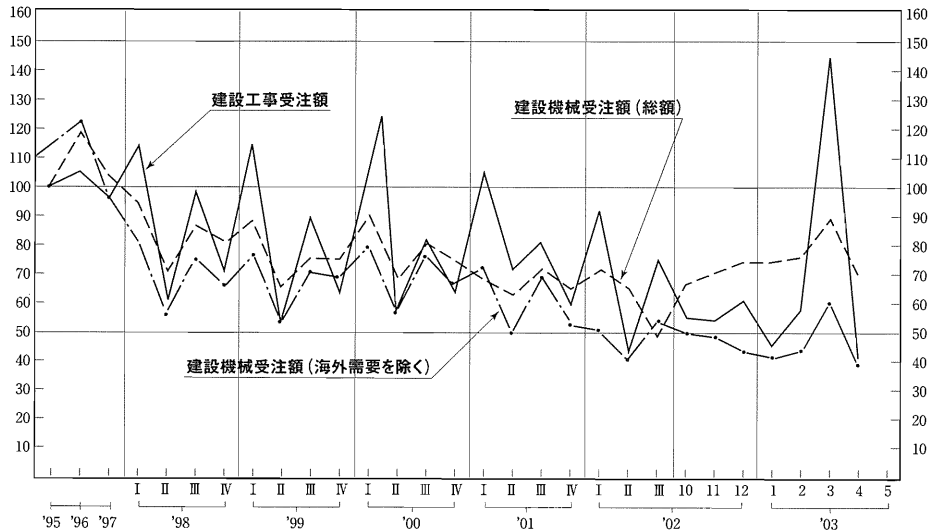
図一3 最近の建設資材物価指数の動向（全国平均）

ント減、土木部門0.7ポイント減であり、依然下降傾向であるが、安定して来ている。

## 統計

## 建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査（大手50社）（指数基準 1995年平均＝100）  
 建設機械受注額：機械受注統計調査（建設機械企業数26前後）（指数基準 1995年平均＝100）



建設工事受注動態統計調査（大手50社）

(単位：億円)

年月	総計	受注者別						工事種別		未消化工事高	施工高
		民間			官公庁	その他	海外	建築	土木		
		計	製造業	非製造業							
1995年	194,524	110,954	17,326	93,627	66,793	5,679	11,098	117,867	76,657	219,214	200,862
1998年	167,747	103,361	16,700	86,662	51,132	4,719	8,535	106,206	61,541	193,823	183,759
1999年	155,242	96,192	12,637	83,555	50,169	4,631	4,250	97,073	58,169	186,191	164,564
2000年	159,439	101,397	17,588	83,808	45,494	6,188	6,360	104,913	54,526	180,331	160,536
2001年	143,383	90,656	15,363	75,293	39,133	6,441	7,153	93,605	49,778	162,832	160,904
2002年	129,862	80,979	11,010	69,970	36,773	5,468	6,641	86,797	43,064	146,863	145,881
2002年4月	5,767	3,980	550	3,430	1,117	414	257	3,941	1,827	159,357	9,481
5月	7,648	4,549	652	3,897	2,111	409	578	5,119	2,529	157,565	9,566
6月	8,135	5,240	647	4,593	1,778	495	622	5,954	2,181	155,050	10,534
7月	10,297	6,279	992	5,287	2,949	402	672	6,873	3,424	154,240	10,572
8月	9,287	5,649	711	4,938	2,849	390	398	6,352	2,935	153,023	11,125
9月	16,369	10,898	1,656	9,242	4,139	459	872	11,404	4,964	154,141	15,013
10月	8,928	5,458	767	4,691	4,610	350	509	5,920	3,007	152,516	10,264
11月	8,759	5,544	825	4,719	2,460	415	339	6,066	2,693	149,752	11,470
12月	9,960	6,067	864	5,203	3,244	468	181	6,796	3,164	146,863	12,586
2003年1月	7,602	4,941	917	4,024	2,019	339	303	5,249	2,353	143,731	9,895
2月	9,385	6,033	946	5,087	2,661	449	241	6,208	3,177	141,894	11,428
3月	23,200	14,789	1,957	12,831	6,624	658	1,128	15,130	8,070	141,426	19,139
4月	6,720	4,604	730	3,874	1,206	382	527	4,405	2,315	—	—

## 建設機械受注実績

(単位：億円)

年月	'95年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'02年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'03年1月	2月	3月	4月
総額	12,464	10,327	9,471	9,748	8,983	8,667	640	713	674	581	702	820	696	741	770	765	789	922	729
海外需要	3,602	4,171	3,486	3,586	3,574	4,301	356	405	361	237	336	346	327	381	443	453	466	475	448
海外需要を除く	8,862	6,156	5,985	6,162	5,409	4,365	284	308	313	344	366	474	369	360	327	312	323	447	281

(注) 1995年～1997年は年平均で、1998年～2002年第3四半期は四半期ごとの平均値で図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査  
内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査